

Rotary 週報



第2660地区

The Rotary Club of OSAKA-WEST

大阪西ロータリークラブ

創立 昭和32年6月4日

事務局 大阪市北区梅田1丁目1番3号
大阪駅前第3ビル30階(〒530-0001)
電話 06-6348-8436 ファックス 06-6347-4556
ホームページ <http://www.osaka-westrc.org>
メール office@osakawestrc.org
例会日 毎週月曜日 12時30分
例会場 ヒルトン大阪
会場電話 06-6347-7111

会長 上田 茂久
幹事 寺田 幸司
会報委員会 木村 友昭

4つのテスト われわれがものごとを考え、言い、また為そうとする場合はこれに照合してから。
Ⅰ 真実かどうか。Ⅱ みんなに公平か。Ⅲ 好意と友情を深めるか。Ⅳ みんなのためになるかどうか。

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

SERVE TO CHANGE LIVES

シェカール・メータ

No 2545 2022年2月21日 第2972回例会

本日のお知らせ

2月21日例会は時間を短縮して12:40~13:30で
ヒルトン大阪5階桜山華の間にて開催致します。
(お食事は11:45~12:30にお済ませください)

- ◆ R.S. 「われら日本ロータリアンの歌」
- ◆ 卓話 「『居場所』に集う若者たちが
必要としていること」
NPO法人FAIR ROAD代表理事 阪上 由香氏
(担当会員 松坂 英孝 君)

- ◆ 第2回奉仕活動プロジェクト検討チーム
ミーティング 開催
例会後、ヒルトン大阪5階グラスルームにて
開催いたします。メンバーはご出席ください。

次例会のお知らせ

2月28日例会は時間を短縮して12:40~13:30で
ヒルトン大阪5階桜山華の間にて開催致します。
(お食事は11:45~12:30にお済ませください)

- ◆ R.S. 「手に手つないで」
- ◆ 卓話 「春のRYLAセミナーの楽しみ方」
RYLA実行委員会

- ◆ メンバー・スカウティング・ユニット(MSU)
第7回会合開催

11:30より、ヒルトン大阪5階グラスルームにて
開催致しますので、メンバーはご出席ください。

- ◆ 戦略計画委員会開催

例会後、ヒルトン大阪4階銀河の間にて開催
致しますので、メンバーはご出席ください。

前例会の報告

- ◆ 前例会 (2月14日) の来客者 3名
うち国内ゲスト 3名

- ◆ 前例会 (2月14日) の出席状況
出席会員数 (内10名免除会員) 61名
欠席会員 31名
出席規定適用免除会員 26名
会員総数 108名
出席率 66.30%

- ◆ 1月17日の例会の出席率 (MUを含む) 78.02%

- ◆ ニコニコ箱 (2月14日分)

- 誕生日自祝。 相崎 秀樹 君
- 本日卓話担当です。皆様よろしくお願ひ致します。
古谷 直樹 君
- 寒中お見舞い。 鴨谷 清三 君

2月のロータリーレートは1ドル=115円です

- 鳥居会員、先日はお世話になり有難うございました。 林 邦彦 君
- ニコニコ。 木村 毅 君
- 息子8歳誕生日祝。 木山 博之 君
- 欠席のお詫び。 光永 兼治 君
- 柿本ガバナー補佐、小山ガバナー補佐エレクト、ようこそ西ロータリークラブへ。 森川 晃夫 君
- ニコニコへ。 丹生 昭教 君

ニコニコ箱 (2月14日分)

クラブ・ニュース

◆ 第3回クラブアセンブリー開催

日時：2022年2月14日(月) 13:40~14:40

場所：ヒルトン大阪 4階真珠の間

議題：クラブ運営と活動：現次委員長合同会議

出席者：26名 (敬称略)

ガバナー補佐	柿本 円
ガバナー補佐エレクト	小山 章松
2021-22年度	2022-23年度

会長	上田 茂久	相崎 秀樹
会長エレクト	相崎 秀樹	小寺 隆弘
副会長	小寺 隆弘	<欠席>
直前会長	村上 正	上田 茂久
幹事	寺田 幸司	森川 晃夫
副幹事	鳥居 俊彦	寺田 幸司
	森川 晃夫	奥田 祐一
会計	<欠席>	鳥居 俊彦
S. A. A.	養父 豊	吉本 幸司
出席・プログラム委員長	丹生 昭教	木村 毅
会報委員長	<欠席>	光永 兼治
広報・雑誌・記録委員長	小島 崇宏	小島 崇宏
親睦委員長	奥田祐一(代理)	<欠席>
増強委員長	古谷 直樹	安部 吉宏
選考・職業分類委員長	<欠席>	<欠席>
規定情報・研修委員長	山中 政彦	山中 政彦
職業奉仕委員長	根本 竜司	<欠席>
社会奉仕委員長	<欠席>	井上 佳昭
国際奉仕委員長	作野 正宏	<欠席>
ロータリー財団委員長	<欠席>	近藤 太郎
米山奨学委員長	奥村 茂樹	山下 賢一
青少年奉仕委員長	<欠席>	井上 久史

◆ 平和構築と紛争予防月間に寄せて

「油断した！」最近こんなふうに叫んだことはありますか。皆さんは「油断」の語源をご存じでしょうか。

先日、私の所属する大阪RCの鳥井信吾会長から「不滅の法灯」の話をお聴きしました。鳥井氏は、比叡山延暦寺の比叡山法灯護持会会長をさ

れています。「不滅の法灯」とは、一つ一つの灯火に教えがあり、その火を消すことは、その教えが消えてしまうことを意味するのだそうです。従って、教えを守り続けるために1200年以上にも亘って油を絶やさず、火を消さないようにしているのだそうです。日本の言葉の奥深さと素晴らしさを再認識しました。

しかし、日本社会の私たちの身近な場所で、この「油断」という言葉がどれほど日常に切実に使われているのでしょうか。一方で、我々が支援をしている紛争地域では、「油断」は死に直結します。日本では横断歩道を渡るとき、運転しているときなど普段の生活の中に確かに危険が潜んでいます。しかし、紛争地域では、常に死に直面していると言っても過言ではないでしょう。日々、日本においても悲しいニュースが存在するのも事実ですが、24時間常に緊張しながら生活している人はほとんどいません。比叡山や紛争地域の様に、一時一時を真剣に向き合いながら生きている人が何人この国にいますか。そして、その大きな違いの中で生きている人々の価値観は、生き方はどう違ってくるのでしょうか。

様々な活動を通して紛争地域に奉仕活動を行うことはとても大切なことです。しかし、それだけにとどまらず、紛争を肌で感じる事ができない日本人に、命や平和のありがたさを知ってもらう活動をしなければならないでしょう。どこかの国が風邪を引けば全世界が風邪をひいてしまうと言われる今、単に日本のことだけに目を向けていていい時代では決してありません。平和構築のために人々の理解を深め、支援の輪を広げていきましょう。そのためには私たちの周りに生き続けている教えの価値を再認識し、子供たちに伝えていきましょう。比叡山延暦寺が1200年以上にも亘って油を絶やさぬよう灯火を守ってきたように、私たちは、ロータリーの精神と日本の精神を通して、人々に大事な真の価値を伝え、世界の人々と共に平和を守り続けていきませんか。

RI2660地区ガバナー 吉川 秀隆
(ガバナー月信2月号より)

♪本日のロータリーソング♪
「われら日本ロータリアンの歌」

1. われら日本のロータリアン
一つの仕事をする時も
真心こめて考える これは誠か真実か
「冬景色」

1. さ霧消ゆる湊江の
舟に白し 朝の霜
ただ水鳥の声はして
いまだ覚めず岸の家